

令和7年度 乳幼児教育保育の質の向上に関する懇談会の開催について

令和6年度は、広島市乳幼児教育保育支援センターが設置から6年目を迎え、センターの体制が整ってきたことや、組織改正によりセンターの運営業務を教育委員会からこども未来局に移管したことなどから、センターの取組について改めて説明し、地域の課題に対する的確に対応するためのセンターの役割、こどもの発達の段階を見通した架け橋期の教育の充実などについて、意見聴取した。

令和7年度は、引き続き、本市における架け橋期の教育の充実のため、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について意見聴取することとする。

【構成員】

名 前	所 属 ・ 職 名
朝倉 淳	広島大学 名誉教授
徳永 隆治	安田女子大学教育学部児童教育学科 教授
渡邊 英則	認定こども園 ゆうゆうのもり幼保園 園長
福島 ニール 圭治	広島市私立保育協会 理事長(認定こども園みのり愛児園保育園長)
堂山 宗敬	広島市私立幼稚園協会 副理事長(洋光学園 理事長)
宮地 明美	広島市保育園長会会長 (吉島保育園 園長)
木村 みゆき	広島市立幼稚園長会会長 (船越幼稚園 園長)
築地 陽子	広島市小学校長会 副会長 (中山小学校 校長)

【開催スケジュール】

第1回	8月18日
第2回	12月25日

【内容(現状のイメージ)】

	テーマ	意見聴取する内容(仮)
第1回	幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について	乳幼児教育・保育施設間、乳幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進
第2回		小学校以降の生活や学習の基盤を育成するための連携・協働